【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年5月28日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年5月19日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	サザンイリノイ大学カーボンデール校(日本語名) Southern Illinois University Carbondale(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月中旬～ 5 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	10525 人
創立年	1869 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (USドル)	日本円	備考
授業料		円	交換留学のため無し。
宿舍費	4320	648000 円	1 カ月 480ドルを毎月支払い。
食費	1000	150000 円	外食と自炊合わせて月 100ドル前後。
図書費	150	22500 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	240	36000 円	9 か月分。
現地交通費		円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	140	21000 円	現地でデンタルクリニックを受診した。
保険費		円	形態:
渡航旅費	3300	500000 円	往復別々で購入したため少し高くなってしまった。
ビザ申請費	405	60750 円	
雑費		円	
その他	5000	750000 円	保険料や施設利用料などが学期ごとに合計各 2500ドルほど請求される。
その他		円	
合計	14555	2188250 円	休暇中の旅行費用は含まない。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: Oral & maxillofacial Surgery of Carbondale)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

基本的に平和な田舎町なので特に危険な場面にあうこともなく、防犯対策といえるものも何もしていませんでした。ただ、夜稀に発砲音を聞くことがあったので、暗くなってから少人数で外を出歩くことは控えていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や大学の施設ではWiFiが問題なく使えます。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本のクレジットカードやデビットカードをそのまま利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

大抵の必要なものは現地で購入できます。ただ、薬やコンタクトレンズの洗浄液などは慣れている物を持っていくと安心だと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他( ) ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction of Hospitality & Tourism	ホスピタリティ・ツーリズム入門
科目設置学部・研究科	Hospitality Tourism and Event Management
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面。基本的には教授が講義する形でしたが、受講生が9人と少なかったため、常にディスカッションしているような、皆が発言しながら進んでいくスタイルでした。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Ravi karan
授業内容	この分野を学ぶ上で必要となる基礎知識について。
試験・課題等	小課題5つ・フィールドワークのミニレポート2つ・グループプレゼンテーション1回・小テスト9回・期末試験
感想を自由記入	2章ごとにほぼ毎週行われる小テストの勉強が大変でしたが、内容は興味深く、実際の現場でフィールドワークを行う機会もあり、とても為になる授業でした。教授がとても親身になって完全に理解できるまで教えてくれたのが、本当にありがたかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction of Oral Communication	口頭コミュニケーション入門
科目設置学部・研究科	School of Communication Studies
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面。生徒に発言を求めながら先生が講義を進めていく形式でした。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Zoe Freedkin
授業内容	効果的なスピーチ方法や、そのために必要な準備について。
試験・課題等	スピーチ4回・クイズ5回
感想を自由記入	先生がとても明るく元気で楽しいクラスでした。クラスメイトの前で英語でスピーチをすることはとても緊張しましたが、いい経験になったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
America's Diverse Cultures	アメリカの多様な文化について
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面。受講生が多かったので、先生がパワーポイントを用いながら講義し、学生はそれを静かに聴く形でした。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Lumban Alofah / Lauren Heller
授業内容	アメリカ国内に存在する多様な文化について、人類学的視点を切り口に学ぶ。
試験・課題等	ペーパー課題2回・クイズ数回・中間テスト・期末テスト
感想を自由記入	人類学系の科目ということもあり、出てくる単語が難しく、最初は苦戦しました。リーディング課題も多かったです。ただ、教授もアシスタントの方もとても優しく、授業の質問や課題に関する相談を沢山聞いてくださったので、とても心強かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
The Linguistic Structure of Japanese	日本語の言語学的構造
科目設置学部・研究科	School of Languages and Linguistics
履修期間	Fall 2023
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面。生徒が発言しながら、教授が講義を進めていく形でした。関連動画をみてディスカッションすることもありました。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Satoshi Toyosaki
授業内容	日本語の言語学的構造について、主に英語との違いを比較しながら学ぶ。
試験・課題等	指定された範囲のリーディングとそれに応じた課題10回・ティーチング課題1回
感想を自由記入	自分の第一言語である日本語ですが、英語の視点から英語話者と共に学ぶことで初めて気づく点がいくつもあり、興味深かったです。最終課題の30分間英語で日本語を教えるというティーチング課題について、とても緊張したし構成を考えるのも大変でしたが、貴重な体験だったなと感じています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Small group communication	少人数グループにおけるコミュニケーション
科目設置学部・研究科	School of Communication Studies
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面。先生が講義を行う日とグループ活動を行う日がありました。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Shelby Swafford
授業内容	少人数グループにおける効果的なコミュニケーション方法について、講義と実際のグループワークを通じて学ぶ。
試験・課題等	グループティーチング2回・グループプレゼンテーション2回
感想を自由記入	グループワーク中心の授業なので、どの課題もクラスメイトと話し合いながら進めていく必要があり、会話のスピード感についていくのが大変な時もありましたが、ユーモラスな生徒が多く、彼らの発言を聞くのはとても面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Communication Across Cultures	異文化間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	School of Communication Studies
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面。生徒に質問をしながら、先生が講義を進めていく形です。ディスカッションタイムをとることもありました。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Scott Jarmon
授業内容	異文化間コミュニケーションの効果的な方法と障害となる事柄について。
試験・課題等	ペーパー課題4回・中間テスト・期末テスト
感想を自由記入	異文化間コミュニケーションについて、かなり深いところまで切り込んで学ぶことが出来、とても興味深かったです。ペーパー課題を通じた新しい発見もあり、多くのことを学べた授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction of Sociology	社会学
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面。完全講義形式でした。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Darren E. Sherkat
授業内容	社会学の基礎知識について。
試験・課題等	テスト4回・ペーパー課題1回
感想を自由記入	ただ講義を聴くだけだったので、留学先で受ける必要はなかったかなと感じます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Working Internationally	国際的に働くことについて
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	Spring 2024
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面。生徒に発言を求めながら先生が講義をし、後半はケーススタディに基づいてグループディスカッションを行うという形でした。(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	John Kwabena Fiagbedu
授業内容	様々なバックグラウンドを持つ人々が共に働く上で必要なスキルについて学ぶ。
試験・課題等	テスト5回・ペーパー課題5回・毎週のリーディング課題
感想を自由記入	2 セミスター通じて一番好きだった授業です。先生もクラスメイトも優しい人ばかりで、彼らとディスカッションを行うことが毎回楽しみでした。教科書の内容も興味深く、将来に繋がる内容でした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

無し。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

未定。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

自分の将来について考える際の視野が大きく広がったように感じます。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFLの勉強
	8月～9月	TOEFL受験
	10月～12月	書類作成・応募・留学先大学決定
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	現地とのZoomミーティング・ビザ手続き・航空券購入・予防接種・その他
	8月～9月	留学スタート
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	留学終了
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

第一志望は別の大学だったため、決まったときは複雑な気持ちでしたが、SIU で受講した授業はどれも興味深く、寮では沢山の素晴らしい友人達に出会うことが出来、とても充実した楽しい留学生活となりました。もっとこの生活が続けばいいのにと何度思ったかわからないほどです。長期留学となるとハードルが高く感じてしまったり、不安要素が沢山出てきたりするかと思いますが、それを乗り越えた先には最高の経験が待っています。少しでも関心のある方は、是非チャレンジしてみてください！困ったことがあったら、私でよければいつでも相談にのります！

現地での生活について。カーボンデールは田舎町なので、レストランは沢山ありますが、娯楽施設はほとんどありません。東京などの大都会に慣れている方々は少し驚くかもしれません。ただ、何もないとはいえ、1万人以上の学生が生活している場所なので、食料品や生活必需品の入手には困りません。その点は安心してください。学生はバスに無料で乗れるので、それを活用すると良いと思います。私自身、出発前は田舎は嫌だなと思っていたのですが、慣れてみると、皆穏やかにのんびり生活していて、その雰囲気心地よく感じるようになりました。特別なことをしなくても、寮内で友人らとお喋りしたりふざけ合ったりした時間が良い思い出となっています。

授業について。正直最初の1カ月は全く授業についていくことが出来ませんでした。ネイティブの会話スピードは想像を超える速さで、単語学習の不足もあって、話題が何なのかすら理解できないこともありました。その頃は初見で話を聞いてもわからないので、予習に膨大な時間をかけて、授業で何が話されるのか全て理解したうえで教室に行くようにしていました。1カ月半を過ぎたころからようやく慣れてきて、段々と講義が分かるようになり、ディスカッションにも参加できるようになっていきました。現地の生徒はディスカッションへの参加意欲が強く、彼らの意見を聞くのはとても面白かったです。授業を選ぶ際は、興味がある科目を優先することはもちろんですが、ディスカッションやグループワークが頻繁に行われるものを選ぶのもおすすめです。今留学を目指している皆さんは確実に私より英語力があるので、このようなことは起こらないかもしれませんが、もし授業を受けていく上で困ることがあった際には、すぐに教授に相談することを強く勧めます。SIUの先生達は優しい方ばかりで、100%理解できるまでどれだけ時間がかかっても解説してくださります。英語力の不安を話した時も、絶対大丈夫と心強い励ましの言葉をかけてくださいました。

渡航前に日本でしていくべきこととしては、歯科医院を受診することがあります。自分が出発前に全治療を完了させたのですが、その後詰め物が取れてしまい、現地でデンタルクリニックを受診しました。最初の診療だけで140ドルかかり、全ての治療を完了させるとなると数十万円かかると説明されたので、帰国後日本で治療することにしました。絶対に渡航前に検査・治療を済ませてください。

最後に寮について。共有スペースでの交流が盛んです。皆とてもフレンドリーですぐに友達が作れます。毎週皆でカードゲーム・卓球大会・映画鑑賞などをする game night と呼ばれる日があるので、それに参加することも交友関係を広げるために良い機会となると思います。また、スマートフォンやパソコンを放置しても大丈夫なほど安全なので、安心して生活できます。私自身帰国後留学生生活を振り返って一番恋しく思っているのが Ambassador Housing とそこで出会った友人達です。皆さんも充実した寮生活を経験できるでしょう。